京（みやこ）カレッジについて

「京（みやこ）カレッジ」とは、京都市と大学コンソーシアム京都が主催する生涯学習事業です。大学の講義が受講できるほか、「市民教養講座」といった大学の生涯学習講座などを提供しています。詳しくは「京カレッジ生募集ガイド」または京カレッジホームページをご覧ください。

2022年度 京（みやこ）カレッジ 京都力養成コース 京都学講座『復活の京都』

● 受講料

10,000円（基本講座10回）

※開講記念講座は別途応募が必要です。応募が定員を超過した場合は抽選で受講生を決定します。
※実地講座は別途参加申込と参加費が必要です。申込が定員を超過した場合は抽選で受講生を決定します。
※大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生（ただし大学院・通信教育課程生等を除く）および放送大学京都学習センター全科履修生は基本講座の受講料を無料とします。学生証のコピーを出願の際にご提出ください。

● 定員

「午前コース」「午後コース」ともに各130名

※どちらも同じ講座内容です。どちらかのコースを選んで出願してください。各コースとも出願が定員を超過した場合は抽選で受講生を決定します。出願後にコースを変更することはできません。予めご了承ください。

● 出願方法

「京カレッジ募集ガイド」をご請求いただき、WEBにてご出願ください。

※WEBでの出願は、講座名等を画面上から選択するだけの簡単な仕様です。ぜひご利用ください。
※WEBのご利用が難しい場合は、郵送・持参での出願も可能です。

募集ガイドの入手または請求方法

■募集ガイド請求フォーム
https://tinyurl.com/miyakare2022
スマートフォンのカメラ等でこちらを読み取りください

■3月初旬より下記の配架先でも入手できます。
キャンパスプラザ京都、京都市役所、区役所、支所、京都市の図書館等

■郵便番号・住所・氏名（フリガナ）・電話番号を明記の上、ご請求ください。
メール miyakare@consortium.or.jp
FAX　075-353-9121

※ご提供いただいた個人情報は「京カレッジ」に関する運営のみに使用いたします。

出願受付期間

●WEB	3/4（金）～3/17（木）23時59分まで
●郵　送	3/4（金）～3/17（木）必着
●持　参	3/16（水）・3/17（木）10時00分 ～ 16時00分 キャンパスプラザ京都で受付

【注記】・受講可否の連絡は4月上旬までに郵送いたします。・ご入金いただいた受講料・参加費は返金いたしません。予めご了承ください。

大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生は基本講座の1回毎の受講が可能です
無料

1回毎の受講をする場合は、希望する講座（実地講座以外）の日時に直接会場へお越しいただき、受付で学生証を提示してください（会場の定員を満たした場合は、受講をお断りさせていただくことがあります）。

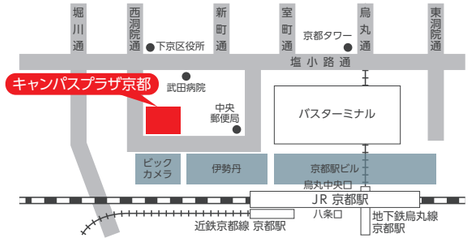
※「加盟校正規学生」とは大学コンソーシアム京都加盟校の正規学生（ただし大学院・通信教育課程生等を除く）および放送大学京都学習センター全科履修生です。

●お問合せ先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 The Consortium of Universities in Kyoto
京（みやこ）カレッジ担当
お問合せ受付時間　9:00～17:00（日、月曜除く）
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る　キャンパスプラザ京都内
TEL. 075-353-9140　FAX. 075-353-9121
E-Mail : miyakare@consortium.or.jp
https://www.consortium.or.jp/
京カレッジ　検索

京都市 CITY OF KYOTO　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　関西から 文化力 POWER OF CULTURE

京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



京都市営地下鉄、JR・近鉄「京都駅」から徒歩7分程度。
キャンパスプラザ京都には市バス・地下鉄等公共交通機関をご利用ください。

主催:京都市・公益財団法人 大学コンソーシアム京都　発行:京都市総合企画局総合政策室　京都市印刷物 第034761号 令和4年2月

京（みやこ）カレッジ

2022年度 京（みやこ）カレッジ 京都力養成コース 京都学講座

『復活の京都』

コロナ禍により、制限と解除が繰り返される日常のなかで、ようやく復活のきざしが見えはじめています。京都の町は過去何度も存亡の危機にあり、応仁の乱や蛤御門の変などによって市街地の過半は焼失し、精神的にも物理的にも大きなダメージを受けました。だが、その度に不死鳥のように復活していった歴史があります。その秘密はいったいどこにあるのでしょうか。『復活の京都』の歴史を各分野の専門家とともに検証し、その謎の解明に迫っていきます。

基本講座10回　**定員 各130名**

期間	2022 4/23（土）～ 2022 10/8（土）
時間	【午前コース】10:00～11:30（受付開始 9:30） 【午後コース】12:30～14:00（受付開始12:00） ※各コースとも講座内容は同じです。
会場	キャンパスプラザ京都（4階 第2講義室）

開講記念講座

3/5（土）　京都のリバイバル
井上 章一氏（国際日本文化研究センター 所長）
川島 智生氏（京都華頂大学 現代家政学研究所 教授）

※開講記念講座は別途応募が必要です。

第1回 4/23（土）　賀茂競馬930年 －伝統と継承－
堀川 潤氏（一般財団法人 賀茂県主同族会 理事長 賀茂競馬保存会 副会長）

第2回 5/28（土）　災害からの「復活」と神仏への祈り －御霊信仰・天神信仰の成立・展開と災害－
竹居 明男氏（同志社大学 名誉教授）

第3回 6/4（土）　奥深い芸の世界へ －恵美華さんに聞く
恵美華氏（祇園甲部芸妓（地方））

第4回 6/11（土）　祇園祭 鷹山の復活 －196年の眠りからの覚醒－
山田 純司氏（公益財団法人 鷹山保存会 理事長）

第5回 7/2（土）　明治維新期の西本願寺
近藤 俊太郎氏（龍谷大学 非常勤講師）

実地講座1 7/9（土）　日本庭園と京都の近代 －南禅寺界隈別荘庭園群と琵琶湖疏水
地域の歴史がはぐくんできた「京都岡崎の文化的景観」
加藤 友規氏（植彌加藤造園株式会社 代表取締役社長 京都芸術大学大学院 日本庭園分野 教授）

第6回 7/23（土）　明治の工業都市京都 －首都から工業都市へ－
川島 智生氏（京都華頂大学 現代家政学研究所 教授）

第7回 7/30（土）　子育てのまち京都の夏 地蔵盆 －その現状と将来－
神谷 潔氏（スタジオ北山山荘 写真家）

第8回 9/3（土）　京町家今昔 －その変遷と現在に伝える知恵－
荒木 正亘氏（株式会社アラキ工務店 会長）

第9回 9/10（土）　戦国期京都の都市構造 －応仁・文明の大乱からの復活－
山田 邦和氏（同志社女子大学 現代社会学部 教授）

第10回 10/8（土）　復活の小劇場 －THEATRE E9 KYOTO 新しい公共としての民間劇場
あごうさとし氏（THEATRE E9 KYOTO 芸術監督 京都市立芸術大学 芸術資源研究センター 客員研究員）

実地講座2 12/24（土）　美術館に見る京都の復活の歴史と今 －京都市京セラ美術館－
吉中 充代氏（京都市美術館学芸員）

※実地講座は別途参加申込と参加費が必要です。

新型コロナウイルス感染症の影響等に伴い、講座の延期や中止、内容の変更等が生じる場合がございます。
最新情報は、大学コンソーシアム京都ホームページの「重要なお知らせ」等に掲載いたしますので、ご確認ください。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 The Consortium of Universities in Kyoto

みやこ
京カレッジ 京都力養成コース 京都学講座

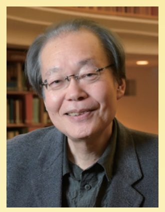
『復活の京都』開講記念講座 京都のリバイバル

一口に、千年の都と言う。しかし、この街には存続をあやぶまれた時期もあった。応仁の乱や戦国乱世がそうである。明治維新のあとも、つらかった。そういう危機をのりこえ、京都は今にいたっている。当日は、各時代のリバイバルを、ふりかえってみたい。

日時 **2022年3月5日（土）**
13:30〜15:00（受付開始13:00）

参加費無料

【講師】



井上 章一氏（国際日本文化研究センター 所長）
京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。1986年『つくられた桂離宮神話』でサントリー学芸賞を受賞。著書に『関西人の正体』『南蛮幻想―ユリシーズ伝説と安土城』『日本に古代はあったのか』『伊勢神宮―魅惑の日本建築』『京都ぎらい』など。

コーディネーター
川島 智生氏（京都華頂大学 現代家政学研究所 教授）
京都工芸繊維大学大学院建築学専攻博士後期課程修了。専門は日本の近代建築史。著書に『近代京都における小学校建築』『民芸運動と建築』『近代日本のビール醸造史と産業遺産』近著に『NISSHA 本社工場の淵源-明治期煉瓦造の工場建築史』『宝塚 温泉リゾート都市の建築史』など。

■会　場 キャンパスプラザ京都（4階 第2講義室）
■定　員 130名（事前応募） ※応募多数の場合は抽選
■応募方法 **WEBにてご応募ください。**

スマートフォンのカメラ等で**こちら**を読み取りください ▶

もしくは下記URLから必要事項を入力の上、ご応募ください。
http://bit.do/kyotogaku0305

※WEB でのご応募が難しい場合は、往復はがきに下図のとおり明記の上、ご応募ください。

往信（表面）	返信（裏面）	返信（表面）	往信（裏面）
63円 往信 600-8216 下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内 大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当 行	※応募の結果を記入します。何も記入しないでください。	63円 返信 □□□-□□□□ 受講希望者の ・郵便番号 ・住所 ・氏名	①「3/5 京都学講座 受講希望」 ②受講希望者の ・郵便番号 ・住所 ・氏名 ・ふりがな ・電話番号

記載不備の場合や往復はがき以外での応募、また、1名1通でないものや料金不足の場合は受付できません。予めご了承ください。ご提供いただいた個人情報は京カレッジに関する諸連絡のみに使用するもので、その他の目的では使用いたしません。

【応募締切】
WEB応募：2022年2月18日（金）23:59
往復はがき：2022年2月18日（金）必着
▶締切りを過ぎてのご応募は無効となります。
▶応募の結果は2022年2月25日（金）に当選者のみメール（WEB応募の方）もしくは郵送（往復はがき応募の方）にて通知いたします。

2022年度 京カレッジ 京都力養成コース
京都学講座

『復活の京都』

基本講座10回 【午前コース】10:00〜11:30 【午後コース】12:30〜14:00 各コースとも同じ内容
※講座の内容は都合により一部変更することがあります。
※実地講座は別途参加申込と参加費が必要です。

第1回 4/23（土）

賀茂競馬930年 ―伝統と継承―

堀川 潤氏（一般財団法人 賀茂県主同族会 理事長 賀茂競馬保存会　副会長）

賀茂競馬は5月5日に世界遺産・上賀茂神社で行われる伝統の神事。平安時代の寛治9年（1093年）以来930年の長い歴史があります。古式競馬の内容だけでなく、長い歴史でのエピソードや伝統を守りつつ、次世代にどのように継承していくのかについても触れていきます。

第2回 5/28（土）

災害からの「復活」と神仏への祈り ―御霊信仰・天神信仰の成立・展開と災害―

竹居 明男氏（同志社大学 名誉教授）

前近代においては、我われ現代人とは異なり、予期しえない災害・災難に対する予防と対策は、ほとんど神仏への祈願にたよるほかありませんでした。平安時代に、そうした対策の一つとして登場したのが御霊信仰とその延長上にある北野天満宮の創建です。平安時代前期から末期までを対象に、平安京内外の災害の実態と、御霊信仰、および北野天満宮を拠点とする天神信仰の成立・展開との関係を探ってみたいと思います。

第3回 6/4（土）

奥深い芸の世界へ ―恵美華さんに聞く

恵美華氏（祇園甲部芸妓（地方））

祇園甲部の恵美華さん。立って舞う芸妓舞妓を「立方（たちかた）」というのに対し、座って三味線を演奏する芸妓を「地方（じかた）」といいます。立方の希望者は多いのですが、地方は高齢化が進んでいます。在学中から修行をはじめ、大学コンソーシアム京都の加盟校を、昨年卒業したばかり。学士芸妓として活躍する最年少の地方、恵美華さんに、お話をうかがいます。

第4回 6/11（土）

祇園祭 鷹山の復活 ―196年の眠りからの覚醒―

山田 純司氏（公益財団法人 鷹山保存会 理事長）

鷹山は暴風雨で懸装品が破損した1826年を最後に祇園祭・山鉾巡行から離れ、1864年の蛤御門の変に伴う大火で御神体の一部を残して曳き山本体も焼失し長らく「休み山」となりました。応仁の乱以前からの歴史を持つ鷹山は2022年に約200年ぶりの復興を目指しています。＊何故、眠り続けたのか？＊誰がゆり起したのか？＊再び眠る事はあるのか？1100年を超す祇園祭の歴史の中で、休み山だった200年間は京都人にとっては「ほんの少しだけ休んではった」ということでしょう。

第5回 7/2（土）

明治維新期の西本願寺

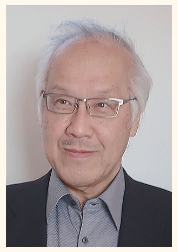
近藤 俊太郎氏（龍谷大学 非常勤講師）

明治維新と仏教との関係といえば、とにかく廃仏毀釈がよく知られています。廃仏毀釈は、日本が近代国家形成にあたり、神道国教化を目論んだために生じた出来事でした。一方、仏教界がその衝動からどう立ち直り、近代化を進めていったのかについては、あまり知られていません。そこで本講義では、明治維新期の西本願寺を中心に取り上げ、日本の仏教の近代化について考えてみたいと思います。

第6回 7/23（土）

明治の工業都市京都 ―首都から工業都市へ―

川島 智生氏（京都華頂大学 現代家政学研究所 教授）



蛤御門の変による市街地焼失と遷都以来、沈んだ京都の町を再生させるために、官民あげて工業都市化がはかられます。現在の風光明媚な観光都市京都からは想像もつかないことですが、琵琶湖疎水はそのためにつくられました。工業都市の遺構は京都織物や鐘紡工場の一部が残ります。最も多く残すのがNISSHA本社工場になった京都綿ネルで、現在も明治29年に完成の工場の過半を残します。工業都市の息吹をこの煉瓦造工場から読み取り、躍動する明治の京都を検証します。

第7回 7/30（土）

子育てのまち京都の夏 地蔵盆 ―その現状と将来―

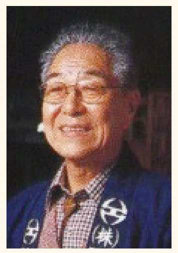
神谷 潔氏（スタジオ北山山荘 写真家）

京都の夏の風物詩「地蔵盆」は、街かどの地蔵堂の前又は石地蔵を会場へ移してお供えとお飾りをし、住職の読経、おやつ、福引などのプログラムで子どもたちを楽しませ、大人同士も親睦をはかる伝統行事です。この行事も少子化と住民意識の変化のために、徐々に縮小衰退しつつあります。過去20年間の京都市北部の写真記録をご覧いただき、みなさんとこの伝統行事の意義と将来について語り合いたいと思います。

第8回 9/3（土）

京町家今昔 ―その変遷と現在に伝える知恵―

荒木 正亘氏（株式会社アラキ工務店 会長）



明治の初めに仮家と呼ばれた京町家は、明治３０年ごろから大正初期にかけ最も華やかに再生され、景観の主役となりました。建築時期によって意匠や構造が異なるだけでなく、お店(たな)から庶民の借家まで住み手によっても様々な京町家があります。本講座では、その建物の違いと見方について紐解きたいと思います。また、現在の木造住宅と比較し、構造・耐震・防火をどのように考えているのかも明らかにしていきます。

第9回 9/10（土）

戦国期京都の都市構造 ―応仁・文明の大乱からの復活―

山田 邦和氏（同志社女子大学 現代社会学部 教授）

室町時代中期におこった応仁・文明の大乱がそれまでの戦争と異なっていたのは、京都の市街地を舞台として、11年間という長期間の戦いが繰り広げられたところです。これにより、都市としての京都は大きな打撃を受けました。しかしその後、京都は見事な復活を遂げます。戦国時代の京都の都市構造はそれ以前とはどのように異なっていたのか、最新の都市史研究の成果をとりいれながら分析してみましょう。

第10回 10/8（土）

復活の小劇場 ―THEATRE E9 KYOTO 新しい公共としての民間劇場

あごうさとし氏（THEATRE E9 KYOTO 芸術監督 京都市立芸術大学 芸術資源研究センター 客員研究員）

2015年から2017年にかけて京都市内の5つの小劇場が閉館する事態がおこりました。それを一つの社会課題として掲げ、多くの市民からの援助を受けて2019年に東九条地域にTHEATRE E9 KYOTOは開館いたしました。劇場の創造過程、現在、そして未来について触れることで、芸術のみならず暮らし、経済、まなび、まちづくりなど様々な分野にも横断する持続可能な公共空間とは何かを考えたいと思います。

実地講座1 7/9（土）

日本庭園と京都の近代 ―南禅寺界隈別荘庭園群と琵琶湖疏水地域の歴史がはぐくんできた「京都岡崎の文化的景観」

加藤 友規氏（植彌加藤造園株式会社 代表取締役社長 京都芸術大学大学院 日本庭園分野 教授）

●時間：10：00〜12：00　●定員：30名　●参加費：2,000円
●場所：南禅寺(京都市左京区南禅寺福地町)他　（現地集合・解散）

幕末から明治維新の社会変化と東京奠都により、京都は沈滞感に覆われ、その打開策として京都では殖産興業に取り組み、琵琶湖疏水の水車動力による産業振興に再起をかけました。事業の途中で水車動力から水力発電に計画が転じ、工場を予定した地域は別荘や宅地へと転用され、疏水の水は産業のみならず、新たな京都の庭園を創り出しました。地域の歴史がはぐくんできた、現代の私達にもたらされた日本庭園の恵みを共に学びます。

実地講座2 12/24（土）

美術館に見る京都の復活の歴史と今 ―京都市京セラ美術館―

吉中 充代氏（京都市美術館学芸員）

●時間：14：00〜16：00　●定員：30名　●参加費：2,000円
●場所：京都市京セラ美術館（京都市左京区岡崎円勝寺町124）（現地集合・解散）

明治期以来美術の都をめざした京都では、本格的な美術館の設立が望まれました。京都市京セラ美術館は、積年の課題にこたえた大礼記念京都美術館（1933年設立）からの歴史ある美術館です。開館時より同時代美術を含め公立美術館コレクションの先鞭をつけ、戦後の接収から京都市美術館に改名しての復活、そしてこのたびのリニューアルと、何度も大きな変革を経験してきました。美術館の設立・復活と大いに関わってきた日展をはじめ建物と展示をご覧頂き、美術館を通して京都の復活の歴史を紹介します。

※実地講座の参加申込には「募集ガイド」にあるシラバスの注意事項をご覧ください。